

## 2月の傍陽小学校



1日：高学年スキー教室・・・午後には、晴れ間も見え、たくさんの練習で、上手に滑れるようになりました。



4日：2年生が豆まきをしました 5日：音楽集会・・・校歌のイメージ画を見ながら歌いました(左：2番、右：3番)



5日：雪の中、元気に遊ぶ一年生・・・おや？雪かきのお手伝いもしています 8日：ニコニコジャンボ真田カルタ大会



15日：児童総会・・・児童会を6年から5年に引き継ぎました 22日：縦割り班・・・最後の活動を楽しみました



23日：真田ドッジボール大会・・・4, 5, 6年が出場し、4年は、見事優勝しました。 25日の雪景色



26日：ひまわり発表会・・・アトリエF.U.U等、施設の方を招き、楽しんでもらいました。

編集後記：本年度の最終号をお届けします。一年間で、12回の学校だよりを発行し、学校の様子をお伝えしてまいりましたが、保護者・地域の皆様には、小学校を少しでも身近に感じていただけたでしょうか。感想、意見、要望等ございましたら、気軽にご連絡願います。

電話：73-2312 有線：2301

平成19年度 傍陽小学校だより 第12号

# 光れ！そえひっ子

平成20年3月1日発行



## 6年生26名(男子12名、女子14名)巣立ちの時

### 3月15日(土)、第129回卒業証書授与式が行われます

創立135年。学制発布により、明治6年12月1日にできて以来、一度も分割・統合の歴史をもたない傍陽小学校。本年度の卒業生で、卒業生の総数は、7416名となります。卒業する26名は、全員が真田中学校へ進学する予定です。

卒業生が入学したのは平成14年4月、学習指導要領による教育と完全週休2日制が実施された年でもありました。以来、「学力問題」をはじめとする教育論議が、さかに行われていますが、現代の子ども達が、狭い意味での学力だけではなく、広く「生きる力」を身につける必要があることは、変わってはいません。卒業生たちは、この小学校生活6年間で、どんな「生きる力」を身につけることができたのでしょうか。

#### 開校135年を終える傍陽小の卒業式が、なぜ129回なのか？

本年度は、傍陽小学校創立135年目。どうして、135回目ではないのでしょうか。実は、学校ができた頃の明治時代初めには卒業生0という年があったようなのです。

「明治6年12月1日が、傍陽小学校の開校日ですが、6, 7, 8年度と卒業生数は0。初めて卒業生を出したのは、明治9年度のこと。この年に3名の卒業生を出しています。その後、明治13, 14, 20年度にも卒業生がならず、134年の歴史の中で6年は、卒業生はいなかったのです。したがって、本年度は、129回卒業式となるのです。当時は、入学はしても、卒業まではできなかった生徒の方が多かったようです。」(19年度学校だより8号より) 当時は、まだ義務教育という考えが人々に広く浸透しておらず、「読み書き算盤が、ある程度できるようになれば、特に卒業証書は必要ない」という家庭が多かったのではないかと思います。



卒業式に向けての練習も始まっています

## 3月の予定

地区児童会	4日(火)
J A引き落とし日	5日(水)
6年生を送る会	6日(木)
3年社会見学	7日(水)
三学期終業式	14日(金)
卒業式・離別式	15日(土)
春休み	16日(日)
	～4月3日(木)
P T A会計監査	24日(月)
新5, 6年生登校日	28日(金)

平成20年度  
第136回入学式 4月4日(金)  
第1回参観日(P T A総会・歓送迎会)  
4月18日(金)

## 卒業証書授与式案内

期 日 平成20年 3月15日(土)

日 程

・受付(保護者・来賓とも)	8:30 - 8:40
・卒業証書授与式	9:00 - 10:30
・離別式	10:55 - 11:10
・学級活動	11:20 - 11:50
・見送り	12:00 12:15
・下校	12:20

# 保護者・地域の皆様へ・・・感謝

いよいよ、平成19年度も残すところあとわずかとなりました。傍陽小学校では、一年間の教育活動を、子ども達とともに振り返りつつ、来年度の構想を練りあげる作業を進めているところです。全国的には、さまざまな面から「教育の危機」が叫ばれていますが、傍陽小では、知徳体のバランスの取れた子どもの育成をめざして、日々の学校生活の充実を図ることができました。その結果、子ども達も教職員も、ともに成長を実感できた満足のいく一年間であったのではないかと感じています。これも、学校を下から、外から支えてくださっている保護者・地域の皆様のお力添えのお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。

全国的には、「モンスターペアレント」と呼ばれる親や、給食費を「払えるけれど払わない」親が増加していることが問題とされています。このような人々がいると、それへの対応に追われて、学校は、子どもの教育に全力を注ぐことができません。しかしながら、ここ傍陽小では、そういった方はおりません。(もちろん、学校に対しての疑問があれば、質問をしたり、問題とすることがあれば、問題を提起したりすることについては、学校としても歓迎するところです。) わが子だけでなく傍陽の子ども達すべてのよりよい成長のために、学校とともに責任を分かち合う保護者のみなさんの姿勢は、私たち教職員にとって大きな大きな力です。

また、時に地域の皆様から電話をいただきますが、「こういうことをしている子がいたから、学校で指導してほしい」というお叱りの電話ではなく、「こういうことをしている子がいたから、注意しておいた。学校でも指導してほしい」という電話です。このように「傍陽の子はわが子」と見ていて下さる地域の方の存在も、学校にとって大きな力です。これも有難いことです。

傍陽小がめざしている「大地に根を下ろし 明るく活力に満ちた チャレンジ精神旺盛な子ども」の育成、という理想から見ると、まだまだ課題も多いわけですが、来年度もまた、この理想実現のために力を尽くしていきたいと思っております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 26日 傍陽小学校のホームページを再開しました



トップページ  
学校紹介  
ニュース  
全校行事  
1年校組  
2年校組  
3年校組  
4年校組  
5年校組  
6年校組  
ひまわり学級  
連絡一貫  
役員室より  
図書室より  
音楽室より  
保健室より

最新のニュース  
1月14日(月) 全校行事 3学期スタート  
1月9日に3学期始業式が行われ、3学期がスタートしました。47日という短い日...  
6月14日(木) ニュース 平成19年度開始

ホームページアドレス  
<http://www.school.umic.jp/soehi>

12月19日(水) 卒業記念陶芸制作(壺・花瓶)に挑戦!

12月19日(水)に卒業記念制作第1弾として、一人1個ずつ用意された木製の粘土板とろくろを初めて使って陶芸に挑戦しました。今回は「輪積み法」という技法でろくろを回しながら、陶芸家になつたつもりで、2kgの粘土(信楽)を使って本格的な「壺か花瓶」を制作しました。今年度陶芸に挑戦するのは「縄文土器」以来2回目となります。冬休み中に「さくら窯」で素焼き(700度)を行い、休み明けに釉薬をつけ、さらに本焼き(1300度)を行う予定です。

過去の情報  
2008年1月  
2007年12月  
2007年11月  
2007年10月  
2007年9月  
2007年8月  
2007年7月  
2007年6月  
2007年5月  
2007年4月  
2007年3月

トップページのようす

学級のページが充実しています。(これは、6年のページ)

傍陽小学校では、一昨年の10月に学校関係の情報ネットワークを新しく構築し、また、傍陽小学校内のパソコン教室など、情報機器を更新しましたが、その際に、傍陽小学校ホームページをいったん閉じておりました。その後、新しくなったホームページの作成法を全職員が講習し、ホームページを再開する運びとなり、去る2月26日午後ホームページを再開しました。

# 特集～6年生の一年間～







1年生を迎える会 4.18



修学旅行 5.9-10



社会森將軍塚見学 5.22



ふれあい登山 5.31



ドキドキ裏山ウォークラリー 6.8



音楽会 6.22



ティム先生との学習 7.13



合唱コンクール 7.31



水泳記録会 8.25



算数研究授業 9.6



運動会 9.22



管楽器交歓会 10.20



縦割り秋の裏山探検 11.2



みどりの時間 11.7



秋の茶会 11.27



バイキング給食 11.27



ホクホク焼き芋集会 11.30



図書委員読み聞かせ 12.19



アザレアン真田訪問 12.25



百人一首 1.9



雪かき 1.23



大なわ大会 1.31



スキー教室 2.1



児童総会 2.15